

令和5年秋期のフクラギ（ブリ当才魚）漁況の見通し

今年秋期(9～12月)のフクラギの漁獲量は、平年(過去10年の平均漁獲量:780トン)をやや上回ると予想される。

「根拠となった情報」

① 8月の富山県のツバイン、フクラギの漁獲尾数

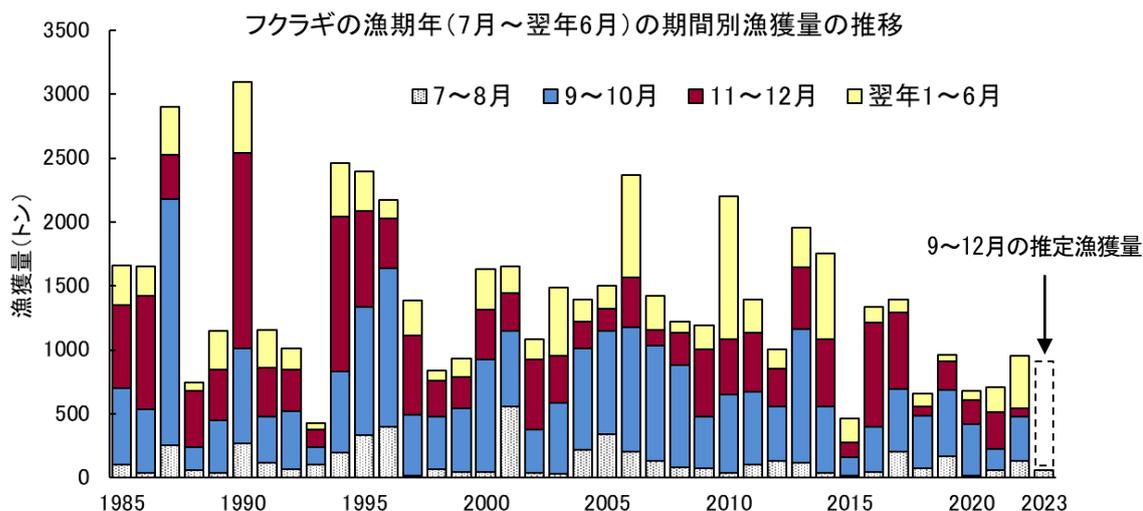
今年8月の富山県のツバイン、フクラギの漁獲尾数は20万尾(漁獲量59トン)と推定された。1997年以降では、8月の漁獲尾数が多いと、9～12月のフクラギの漁獲尾数が多くなる傾向がある(8月の漁獲尾数が非常に多かった(150万尾以上)2001年を除く)。前記の関係から9～12月には127万尾(過去10年平均:106万尾)が漁獲されるものと計算される。尾叉長から推定された月別魚体重量の過去10年平均(9月525g、10月682g、11～12月788g)と、近年の月別の漁獲尾数割合から漁獲量を計算すると、平年(過去10年の平均:780トン)をやや上回る844トンと予想される。

② 8月及び9月の富山湾内の水温

8月及び9月における富山湾内の表層から50m層までの平均水温が23℃を下回ると、9～12月の漁獲量が1,000トンを下回る確率が高い傾向がある。今年8月の平均水温は25.7℃(過去30年間の平均24.3℃)、9月の平均水温は28.0℃(過去30年間の平均25.4℃)であり、水温条件からみると、今漁期(9～12月)が極端な不漁になる確率は低いと考えられる。

【参考情報】

7、8月の近県の定置網によるツバイン、フクラギの漁況
福井県、石川県は平年を下回り、京都府は平年並み。



<ブリ漁況の見通しは11月中旬に発表いたします。>